

地域貢献だより

地域貢献に関する情報の
受信と発信のための **情報誌**
〔発行〕 沖縄県立看護大学
沖縄看護実践開発支援室運営委員会

沖縄看護実践開発支援室運営委員会 始動！

地域貢献だより発行にあたって

本学は、1999年に単科の看護大学として開学し、2004年には博士前期課程(修士)と博士後期課程(博士)を同時に開設し、看護教育の基礎から高等教育までの全プログラムをそろえ人材育成をしています。また、県内の慢性的な助産師不足の解消のために別科助産コースを新設し助産師養成をしています。

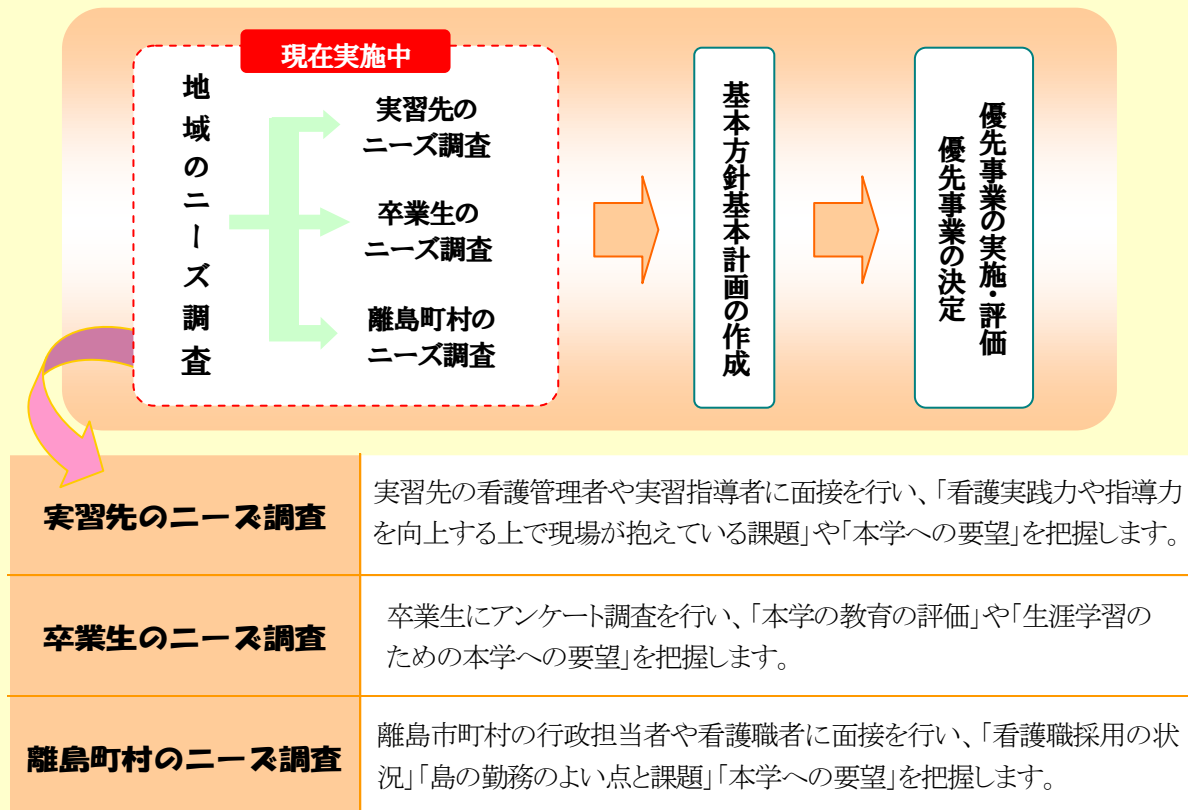
地域貢献については、開学当初からその必要性が検討され「地域交流室運営委員会」を中心として公開講座やナーシングリーダーシップ会議を開催し、看護のリーダー達の意見を積極的に聞くようにしてきました。今年4月、地域に愛され必要とされる大学づくりをめざし「沖縄看護実践開発支援室運営委員会」に改組し、地域貢献をこれまで以上に推進することになりました。新しい時代に大学が地域と協働で人材を育成し豊かな地域づくりに貢献できるよう取り組みます。その活動を関係者の皆様と共有する目的で「沖縄県立看護大学地域貢献だより」を発行します。

沖縄看護実践開発支援室運営委員会委員長 大湾明美

「大学がやりたいこと」ではなく「地域の人々が大学にやってもらいたいこと」は何か？

地域の求めに応じた新規事業の開発を行い、 地域貢献を推進します！

新規事業の開発の進め方（新企画）



調査へのご協力をよろしくお願い致します

地域貢献活動を紹介！

公開講座の開講

「英語論文に触れてみよう！」(7月)

* 大学院入学を希望し、英語学習方法のヒントをつかみたい方

「看護に活かす情報ツール活用術」(9月)

* インターネット、エクセルやワードを看護実践に活用したい方

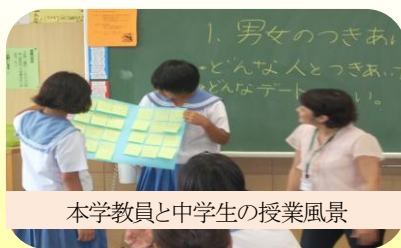
看護に活かす情報ツール活用術には県内の様々な施設の看護職者が参加しました。「苦手だった情報ツールを学び興味がわいた」「パワーポイントの活用術も学びたい」など、感想や意見がありました。

今後、地域の人々のニーズに合わせて内容や方法(出張講座)を検討していきます！

中学校での出前授業(性教育)

本学教員(井上松代講師等)と学生が那覇市内の中学校で、「楽しい未来を思い描ける時を待つ」ために妊娠、出産、子育ての知識・体験を提供する出前授業を行いました。

妊娠体験では「歩くこと、寝返りを打つことが辛かった」、赤ちゃんの世話体験では「重い、落としそう」など感想が聞かれ、生徒たちは楽しく未来体験をしていました。



本学教員と中学生の授業風景

「住民ボランティアの力」 を活かした大学教育で 地域の良さに気づく

学生の教育に本学の教職員、離島の看護職者だけでなく住民が参加しています。参加方法は、地域の歴史文化の講話、宿泊先から実習先までの移送、学生を自宅に民泊させるなどのボランティア活動です。

住民は活動を通して、自分の地域の良さに気づき、島を誇りに思え、地域のために活動するようになります。

住民の声
「支え合う社会をつくるという意識が住民に芽生えた」
「島が誇れる」
「学生を介して地域が繋がった」



「与儀小学校区まちづくり協議会」への参加

本学が所在する与儀では、地域の人々によるまちづくりが始まりました。地域をより安心・安全で住みよいまち、明るく活気のあるまちにしていくため、まずは「与儀を知ろう」ということでまち歩きが始まっています。本学教員(糸数仁美助手等)も参加し与儀のまちづくりに汗をかいています。

9月17日の与儀小学校通りの清掃で拾ったごみです。一人ひとりのまちへの思いを共に育みましょう。学生・教職員の参加を待っています。



本学の地域貢献に関する ご希望やご要望等をお寄せください。

連絡先: 沖縄看護実践開発支援室運営委員会 委員長 大湾明美
TEL: (098) 833-8800(代表)
メール: ohwan@okinawa-nurs.ac.jp



地域貢献活動の詳細はホームページで！

沖縄県立看護大学

検索